

鵜沼市民センター・公民会建て替えについての意見交換会 議事録(要約)

日時:2025 年 1 月 25 日(土) 10:00~12:00

場所:鵜沼市民センター 第3談話室

出席者数:15名

(Sさん)

特に子どもの家に関心があります。子どもが入りやすく、イベント広場とも繋がっていて良いと思います。ただ、駐車場の動線が気になります。子どもが飛び出す可能性があるので、安全対策をお願いします。植栽についても、視界を遮らない工夫が必要では？あと、防災広場は普段どの程度利用できるのか制限を知りたいです。また、子どもの家の天井高が気になります。今の施設はアスレチック感覚で遊べますが、新しい施設はどうなるのでしょうか？どこに問い合わせれば詳細がわかりますか？

(鵜沼市民センター)

駐車場の動線については、フェンスを設けるなど、安全対策を考えます。防災広場は普段自由に使えますが、災害時には防災機能を果たせるようベンチ式かまどやトイレなどを設置予定です。子どもの家については、吹き抜け構造を考えており、縦の遊びができる設計を想定しています。詳細は青少年課が検討中です。

(Kさん)

現在の学習室 1、2 が新しい施設には見当たりませんが、部屋数は減るのでしょうか？

(鵜沼市民センター)

はい、学習室は 2 室減ります。代わりに体育室が新設され、なぎさ荘の大広間などを相互利用する形になります。また、談話室の使い勝手を良くするために、可動式の壁を設置する案も検討中です。

(Kさん)

ホールの大きさはどうなりますか？

(鵜沼市民センター)

今より少し広くなります。ただし、大幅な拡大ではありません。

(Uさん)

なぎさ荘と子どもの家の統合に関して、高齢者目線での配慮はされていますか？また、辻堂センターと比べてどのくらいの広さですか？さらに、観光客の利用も考えた設計になっていますか？

(鵜沼市民センター)

なぎさ荘のデイサービスは移転しません。福祉部が対応を進めています。辻堂センターは約 4000 m<sup>2</sup>で機能的な設計ですが、開放感はありません。新センターにはカフェスペースを設け、商店街と連携した運営などを検討しています。観光客向けの機能は特に設けませんが、津波避難の観点で収容人数には余裕を持たせます。

(Hさん)

駐車場の配置が変わると、229 号線側がメインの出入口になりませんか？道路整備が必要では？

(鵜沼市民センター)

民地の関係なので大幅な道路拡幅は難しいですが、影響を考慮して設計します。

(Hさん)

屋上避難場所の普段の活用を考えてほしいです。例えば、バーベキュー場を設けると、避難時の炊き出しにも使えますし、花火大会の観覧会場にもなります。

(鵜沼市民センター)

イベント時の活用は検討します。地域の皆さんの合意が得られれば、さまざまできるかもしれません。ただし、バーベキューは規制が厳しいので難しいかもしれません。

(Rさん)

建物の高さは 10m ですか？12m まで許可を取りますか？エレベーターだけの移動になりますか？また、外階段の安全性は？室外機の配置はどう考えていますか？

(鵜沼市民センター)

12m の許可を取得予定です。エレベーターのほか、内部階段も設けます。外階段の安全性にも配慮します。室外機は屋上には置かず、2 階か 3 階の専用スペースに配置予定です。

(Wさん)

なぎさ荘の面積はどうなりますか？また、移転した場合、避難施設としての役割はどうなりますか？

(鵜沼市民センター)

なぎさ荘の面積は 3000 m<sup>2</sup>→600 m<sup>2</sup>に縮小されます。避難施設としての役割については防災安全部が対応を検討します。

なぎさ荘の今後については、まだ確定していませんが、市の公共資産活用等検討委員会で議論されます。

(Uさん)

新センターの耐久性はどのくらいですか？塩害対策やメンテナンス計画はありますか？

(鵜沼市民センター)

鉄筋コンクリート造の耐用年数は 50～60 年ですが、適切なメンテナンスをすれば 100 年持つとも言われています。ただ、市の予算事情で現在は十分なメンテナンスが難しくなっている事情もあります。本施設については設計段階から維持しやすい構造を考えます。